

GP リール 2018

参加記

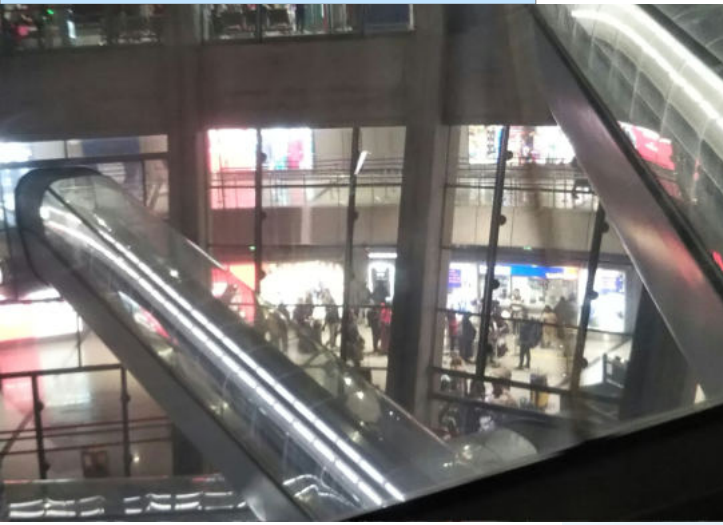


2018/10/26 (金) -2018/10/28 (日)

Lille Grand Palais

絵になる所は多い国フランス

まあちょっと寒かったですが



目次

この本について	2
GP リール 2018 について	2
参加を決め航空券と宿を購入	3
申し込んだパッケージ	4
パリからリール往復の鉄道の申込み	4

2018 年 10 月 24 日(水)

出発	5
チキンライス	5

2018 年 10 月 25 日(木)

北京空港からパリへ	6
北駅へ	7
地下鉄で移動	8
凱旋門で糸さんと	8
エッフェル塔と公衆トイレ	9
ノートルダム寺院で昼食	10
ゆるくウインドーショッピング	11
北駅で時間つぶし	12
リール行きの電車に乗る	12
リール到着	14
チェックイン	14
周辺を散策	15

2018 年 10 月 26 日(金)

バフェイの朝食	16
会場へ	17

メガラストチャンス・トライアルシールド	18
会場チェック	20
ラヴニカのギルド ドラフト	21
ラストチャンストライアルシールド	22
カジノでビデオブラックジャック	22
テーブルでブラックジャック	23
部屋で夕食	24
2018 年 10 月 27 日(土)	
GP 本戦の朝	25
会場入り	25
GP 本戦	26
GP リールに参加した日本人プレイヤー	27
糸さんとカジノへ	28
他人の金でステーキを食いたい (食いました)	30
シャワーが壊れる	31
2018 年 10 月 28 日(日)	
サイドイベントの日	32
ラヴニカのギルド ドラフト	32
追加のプレイマット購入とユーロ残	34
ラヴニカのギルド ダブルアップシールド	34
自由の国フランス	35
リール美術館	36
土産に美術書を買う	37
ホテルに戻る	38
荷造り	39

2018年10月29日(月)

[朝食とチェックアウト](#)

41

[駅の両替所でボラれた\(?\)](#)

42

[車内の検札](#)

42

[パリ北駅](#)

43

[マクドナルド](#)

43

[パリ市内の両替所](#)

44

[ルーヴル美術館に入るのを断念](#)

45

[ねんがんのカフェで優雅な昼食](#)

45

[オペラ・ガルニエ方面でショッピング](#)

46

[北駅](#)

47

[キオスクのエロ本](#)

48

[CDG 空港](#)

48

[セキュリティー](#)

49

[離陸](#)

50

[ユーロのお値段](#)

50

2018年10月30日(火)

[朝食](#)

51

[北京空港](#)

51

[帰国](#)

52

この本について

本書は2018年10月26日(金)～28(日)にかけリール(フランス)のLille Grand Palaisで開催されたマジック・ザ・ギャザリングのグランプリ(GPリール2018)に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

現地の金額表記は原則として€(ユーロ)で行いました。為替レートは1€=128円くらいだったようです。

GP リール 2018 について

GP(Grand Prix;グランプリ)というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。GPリール2018(※1)は、リールで2018年に開催された大会ということになります。主催はChannel Fireball(※2)であり会場はLille Grand Palais(※3)でした。

※1 <https://www.cfbevents.com/gplille/>

※2 <http://store.channelfireball.com/>

※3 <https://www.lillegrandpalais.com/>

参加を決め航空券と宿を購入

基本的には筆者は、近場の海外の GP にはお金や有休に余裕がある限りは参加することをパターンにしておりますが、移動に 1 日かかる米国や欧州にはよほどのことがない限りは参加を見合わせており、リールも当初は行く予定などまったくありませんでした。

ところが 7 月 24 日に、糸さんがツイッターで「グランプリ リールに行こうと思うので、スタンダードやらねば」とつぶやきます。

自分としては「糸さんが数年ぶりにプレイヤー？でもナンデリーるナンデ？」という心境だったのですが、ふと「自分も GP リールに行くのありかも」と思ったのでした。

自分はこの時点では無職になって 4 ヶ月が経過しており、時間はたっぷり取れるので、欧州旅行に行くチャンスだとも思ったのでした。また今後のジャッジ活動のことなどで糸さんとゆっくり話す機会も欲しかったのです。

そこで妻に「10 月にリールに行く気はないか」と打診すると妻は他のイベントの予定が重なっていないことを確認したうえ（笑）「行ってもいいかな」と前向きの返事。あれ？なんだか行く可能性が上がりましたというか**行かない理由がなくなった**感じ。

こうなると後は早いもので（いつものパターン）、基本的にはフライトチケットを調べて宿もキャンセル可能なものを押さえにかかりました。当初は「リールってどこですか」のレベルの自分だったので検索して東京-リールのエールフランスでの直行便コース（1 人 15 万円位）を考えたものの後に「リールはパリから電車で 1 時間くらい」という情報を得たので東京-パリの飛行機の安いチケットを探します（これはそこそこありました）。基本的にこの時点で行くことを決めていたのですが、とはいえ自分が行くことにした後で糸さんが行くのを中止したら馬鹿みたいなので（笑）、糸さんがリール行きを確定させた連絡が来たのを待ってから 8 月 5 日に Expedia（※1）で中国国際航空のチケットを購入。水曜に日本を出て木曜朝にパリに着き、月曜夜にパリを出て火曜夜に日本に帰る便です。2 人で 150,840 円。さらに Apart'City Lille Grand Parais（※2）も取り、こちらは 2 人部屋を 4 泊で 18,808 円でした。とりあえず個室シャワーは確保したけど、どうかな。

※1 <https://www.expedia.co.jp/>

※2 <https://www.expedia.co.jp/Lille-Hotels-AppartCity-Lille-Grand-Palais.h1586421.Hotel-Information>

申し込んだパッケージ

9月25日に Chennel Fireball で GP リールの申込みが可能になったことから、さっそくネットで購入しました。これで GP 本戦の参加は確定です。

本戦	€ 69.99	・ GP 本戦の参加権 ・ スタANDARD ・ スリープイン（BYE 持ちプレイヤーのみ） ・ GP プロモ（変わり谷）
メガラストチャンストライアル（プレイマット付）	€ 21.99	・ メガラストチャンストライアルシールド参加権 ・ GP 本戦プレイマット
プレイマットパッケージ	€ 12.99	・ GP 本戦プレイマット

金曜のメガラストチャンストライアルシールドに本戦プレイマットがつくのを見落としていたので本戦プレイマットをうっかり2枚購入してしまいました。何やってんだか。それはそれとしてプレイマット付きシールド€21.99は格安だとは思います。

パリからリール往復の鉄道の申込み

パリからリールまでは鉄道で1時間ほどなのですが、調べてみるとパリの鉄道というのは同じ日の同じ路線でも時間や購入時期によっては倍くらい値段が違うことも珍しくなく、当日その場で購入するのは**相当に割高**であるようでした。このことから、OUI.sncf（フランス高速鉄道）（※1）のサイトでアカウントを作成してから木曜の夕方のパリ→リールの鉄道と月曜の朝のリール→パリの鉄道を調べて、時間と値段とをにらめっこしてぼちりました。2名で行きは€54 帰りは€68。さらに e-ticket として使用するため、OUI.sncf アプリをスマホにダウンロードします。

これであとは下調べして当日を待つだけの状態になりました。

※1 <https://en.oui.sncf/en/>

2018 年 10 月 24 日（水） 出発

15 時過ぎに妻と家を出て亀有行きのバスへ。青砥から京急に乗り、泉岳寺で乗り換えて羽田空港へ。16 時半には羽田空港に到着し、かなり長い搭乗手続きの列に並んで 17 時半にはチェックインを終了。JR でなく京急を利用するようにしてかなり早くなりました。19 時 40 分の羽田発の北京行きに乗るので、機内食が出るのは 20 時半にはなるでしょうから早めの夕食を済ませてしまうことにして、空港内の吉野家へ行き牛丼の並。何ごともなくセキュリティとイミグレを通過し、18 時半には 148 番ゲートに到着。19 時過ぎに中国国際航空 168 便に搭乗し、まずは北京へ向けてほぼ定刻で出発。

チキンライス

20 時 25 分頃飲み物が出て、20 時 45 分頃機内食が配られ始めます。チキンライスか魚かということで自分は魚を貰って、妻はチキンを貰いましたが「チキンライス」と言われて出たのはどう見てもチキンカレー（笑）。



隣の日本人客もこぼしていましたが、カレーで別にいいけど**最初からカレーと言え**の感（笑）。あ、魚料理のほうは普通に白身魚のフライでした。味の方は日本の仕出し業者のものらしく、なかなか。機内食がおいしいのはポイントが高いなあ。

機内食を食べたら機内の照明も落ちたので、あとは寝ていただけなのですが 22 時半に照明がつきます。

2018 年 10 月 25 日（木） 北京空港からパリへ

そして 23 時ちょうど到北京空港に着陸。シャトルバスで空港入り。時計を 1 時間戻して北京時間では 22 時（ここから北京時間で書きます）。そのまま乗り継ぎ手続きと荷物チェック。あとは午前 2 時の搭乗まで 3 時間余り時間を潰すだけです。

人民元を持参し忘れたので両替所で 5 千円札を 207 元に両替（レートは考えない）して自販機の飲料などを買って時間を潰します。なお空港 Wifi はほとんど使い物にならず、そもそも金盾なのでネットにつないでも何もできませんので、ただ待つのみでした。

それはそれとして午前 2 時に同じ中国国際航空 168 便に搭乗してパリへと向かいます。

2 時 50 分に飲み物が出てから、3 時に軽食が出ました。うん、悪くないですねもぐもぐ。ここで妻がスプライトをこぼすトラブル発生。時間的にも食べたら寝るだけです。ぐう。



9 時半に照明がつかしました。お尻が痛かったもののまずはぐっすり眠れた計算です。

パリ時間では午前 3 時。やはり西廻りは時差ボケになりにくくて良いですね（ここからはパリ時間で書きます）。



そして 3 時 50 分に飲み物が配られ、さらに朝食。今度も妻と自分は別々のものを頼み、自分のほうは粥でした。自分としても「何だ粥か」という第一印象だったのですが小袋のメンマを乗せ、さらに大袋のゆで卵をかじりつつ粥を口に運ぶと**声が出る**ほどの旨さ。さすが中国国際航空、中華料理は侮れません。さすがにもう眠くないので機内映画の「イン

クレディブルファミリー 2」を鑑賞などして（いまいち）いるうち午前 6 時半、パリ CDG（シャルル・ド・ゴール国際空港）に到着。

北駅へ

入国のため CDG を移動。半透明のチューブの中を段差のないエスカレーターで通るのは割と未来感。入国待ちの列に並んでいるときに、日本から持参したフランス対応 SIM を自分と妻のスマホにセット。自分の EE はほどなく繋がり、妻のものも日本語ガイドに従ってアクセスポイントの設定をして使えるようになりました。7 時半、日本と通信成功。さらに ATM で 1 回の上限€500 をクレカで獲得。

入国もできたので市内に向かいます。パリの鉄道路線案内の**分かりにくさ**は半端ではないのですが「To Paris」の案内に従ってシャトルで空港駅に行き、切符を買いました。最初は「これが RER なのだろうか」と自分で切符を買って乗っていてもよく分からないほどだったのですが、どうやら目指す北駅（Gare du Nord）もこの先にあるようでした。

間もなく終わるサマータイムの関係から、午前 8 時なのに乗車した時はまだ真っ暗でした。

そして 30 分くらいして北駅に到着。夕方にこの北駅からリールに向けて発つのでそれまで荷物を預かって貰うわけですが、そろそろ割と空腹で肌寒かったので降りたホームの所にあったスタンドで軽食。初の本場クロワッサンです。



そして北駅の改札口を出た所でコインロッカーを探し、そして店員に聞いたりして 8 番ホーム奥の地下にあるコインロッカーを発見。

ここに入るためにわざわざ手荷物検査があるのに少し戸惑いつつも無事手荷物を預けることに成功。大型ロッカーでも 1 日€10 ほどで、この大荷物を引いて歩くことを考えれば無問題。

これで身軽になったので、出た所のカフェでコーヒーとパンで追加の朝食にしました。

地下鉄で移動

朝食を終えると9時半。リール行きの列車は16時46分発なので、この北駅には16時頃には戻れば十二分そうであり、すなわちこれから7時間ほどのパリ観光になります。

基本ノープランなのですが、やはりパリ観光の定番であることと、昨夜からパリに着いている筈の糸さんと合流のため、まずは凱旋門に向かうことにしました。

そして凱旋門駅（Charles de Gaulle-Etoile）までたどり着く地下鉄の乗り場を目指して移動を開始したわけですが、上下関係がやたら分かりにくい北駅の構造に心を折りそうになりつつ延々と構内を歩いたり、切符の自動販売機がコインしか受け付けずトラブったりしながらも、10時過ぎには何とか徒歩で隣のLa Chapelle 駅まで移動して目的の地下鉄2号線に乗車。これであとは凱旋門駅まで11駅を乗っているだけです。

途中、何やら音楽が流れてきたので「フランスの地下鉄にも車内お節介 BGM があるのだろうか」と思ったらそうでなく、どこぞのおっさんがポータブルカラオケセットを再生し始めたうえに車中で**マイクを使って歌い出す**という事態に遭遇。そして車中の誰もこれを気にしたりたしなめたりする風もなく。これが個人主義の国・フランスかー。

凱旋門で糸さんと

10時半に凱旋門駅に到着。改札を出てトイレを探すもなかなか見つからない（発見したものは、なぜかドアが開かず）ままで地上へ出ます。もう明るいものの、いささか寒さを感じる気温です。凱旋門正面から写真を撮ったりして糸さんを待ち、やがて11時に糸さんが到着したので記念撮影。糸さんから本戦で使うカードを借りて、それから



3人でイエナ通りをエッフェル塔に向けて徒歩で南下します。歩きながらの話題は、主にパリの風景に関しての雑談でした。絵になる古い建物と風景が多いです。

エッフェル塔と公衆トイレ

そのまま 20 分ほど歩くとエッフェル塔が見えるポイントまで来ました。ここで糸さんがランチの約束をしていたらしく離脱し最寄りの地下鉄駅へ向かいました。自分は引き続き妻とエッフェル塔を眺めたり写真を撮影したりしつつ、基本はのんびり徒歩で。さすがに高い料金を払って登る気はまったくなかったものの路上に土産物を並べている物売りをちら見しつつふもとまで移動したりします。エッフェル塔のぬいぐるみという擬人化キャラあり。



ただし実はこの頃には、駅を出た 1 時間くらいも前から済ませたかった**尿意**をかなり我慢しつつ「トイレはないのか」と探していた事実には触れておきたいところです。

いや実際、パリの町通りは石造りのよく分からない建物ばかりで、なかなかその辺の店に入って用を足すこともできないので公衆トイレを徒歩で探してもいたのですが、土産物屋とレストラン以外は何の店だかさっぱり分からない民家かもしれないビルばかりで。



そして正午過ぎにやっと公衆トイレを発見したものの、目眩がしそうな**長蛇の列**。いや、さすがにトイレが少なすぎるんじゃないですかねコレは…。

しかも列がなかなか進まない。見た所これは個室 1 個だけで、しかも 1 回誰かが使用してドアが閉じられるつど便器の自動洗浄が行われそれに毎回 1 分間ほどもかかるということが判明して気が遠くなりました。

グループは「2 人一緒」に入って用を足しているのではなぜだろうと思ったら、なるほど。自分も 20 分ほど待ってから、妻と一緒に使って使いました。

ノートルダム寺院で昼食

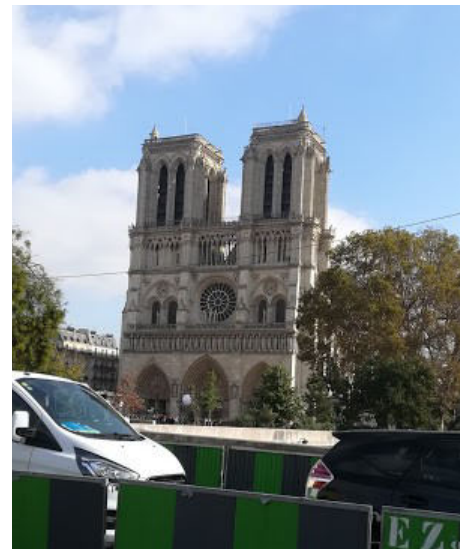
小用を足すと心に余裕ができたものの、もうエッフェル塔で観るものも別に何もないので、次の観光スポットに移動することにします。

電車に乗って移動。反対側に間違えて乗ったりして、いささかの口スタイム。途中小腹がすいたのでホームの自動販売機でスナック菓子を購入したところ、菓子を詰め込みすぎたのか、アームが途中で引っかかりガタガタ全体を揺さぶりつつ移動しながら目的の菓子を掴んで落としたことから、ばさばさ他の菓子も落ちてきて€2で菓子5-6個が落ちてくる珍事が発生。今更こんなもので「得をした」と喜ぶほどでもないものの、係員もいないしその場に残していても仕方ない（あるいは毒入りでも置いたかと思われるかも）ので、そのまま持ち帰ることにしました。13時半、ノートルダムに到着。

ノートルダムでは特に目的もなく妻と広場に立ちつつ建物や風景や参拝客の列を眺めていましたが、やがて日がさしてぽかぽかしてもきたので、そろそろ昼飯にすることにしました。

そこで遠目にテーブルを並べたカフェが見えたので、

「ひとつあそこに座りカフェで**優雅な**昼食を」と思い移動して、その横にあるスタンドでパンと飲み物を買って座ろうとすると「座れるのは料理を注文した客だけだ」と断られる。あ、このスタンドは場所貸しをしてるだけだったのかあ。しまった。



いささか残念な気持ちで買ったパンとジュースを手広場にまでどり、腰かけてもぐもぐ。

まあおいしいんだけど、ちょっと寂しいですね。

なお 500ml ペットボトルコーラ 1本€3.5 という地獄のようなお値段。場所代だと思ったからこそこの値段でも買ったんだけどなあ。

ゆるくウィンドーショッピング

まだ 14 時なのですがノートルダムは中に入って参拝するほどでもないし（結構な長さの入場待ち列ができてました）、わずかな時間を割いて行きたいところが他にあるわけでもないで、のんびり北駅へと向かうことにしました。

そこでグーグルマップを見ながら地下鉄の最寄駅を目指してぶらぶらと川沿いを歩いて、道中の土産物屋を積極的に冷やかします。「I Love Paris」Tシャツはどこにでもあるものの最安値€9 かな？ 1 枚は買いたいけど、ただの T シャツの割にあまりお安くなく。

また多くの土産物で「シェフの高帽子」が売っていました。自分たちを含めだいたいの日本人観光客はコレを見ると笑っていたのでネタ土産にはいいのかなと思いましたが、割とかさばるし渡す相手も思いつかなかったので見送りました。

ロクシタンに入って土産を買う妻を寒空でしばし待つ一幕も。さらに明日から単独行動をするうえでの練習がてらに妻が両替商で手持ちの 1 万円札を替えると€70 超だったので「ATM よりは割が悪いが市内ならそんなものだろう」と横目で見ていました（伏線）。

そうこうするうち地下鉄駅を見つけたので入り、切符自動販売機のカーソルを動かすのがタッチパネルでもボタンでもなくローラーだったのにまごついたりもしつつ、切符を買い乗り継いで 15 時には北駅に戻りました。

北駅に着く頃には再度高まってきた尿意と戦いつつ駅ナカのトイレを探していたのですが、発見したトイレは**有料**で€0.8 の課金。まあ払いましたが、ストレスたまるなあ。あと北駅のトイレは一度出た改札から再度中に入る必要があったのも微妙にストレス。

ただしフランスでは「一度改札を出た切符でもまた改札内に入って出ることができる」システムのようなので、これによる追加の切符課金はありませんでした。

またここで妻の切符が自動改札で認識されず出られなくなる事案が発生。駅員にゲートを通して貰ったものの、これはその後も妻にだけ再度あったので、おそらくは切符を入れたスマホケースの中の磁気ボタンの関係ではないかとも。

北駅で時間つぶし

まだまだ時間があったので北駅を出て駅前をぶらぶら。アダルトショップを発見したので入店して覗いてみますが、例によって大人のおもちゃ系のグッズとエロ DVD ばかりで、特に買うようなものはありません（日本の AV も何本もありました）。「お試し再生 9 分 € 2」というシステムに興味を惹かれたのですが、さすがに試しはしませんでした（笑）。フランスのビデオ BOX というのも興味はあったのですが。

妻はその横のスーパーマーケットに興味があったようでしたが「さすがにその辺は今夜のホテルのそばのスーパーで漁るべきだろう」と自重を求めて食材などを買うことはせず。また部屋で 2 人同時充電のため、Galaxy を並べてある店を発見したので入り Android 用 USB ケーブルを購入。16 時になる頃に、地下の荷物預け所に入って（再度の手荷物検査を受けました）、今朝利用したコインロッカーに受付時の切符を入れて荷物を回収します。

さらに朝と同じカフェでパンとコーヒーを注文（€12.96）し着席のうえで、あとは自分たちの乗車する鉄道のホームが表示されるのを待つことに。自分たちの電車は 16 時 46 分発のダンケルク行きの TGV7567 で、12 号車の一等車指定席券を購入済。そしてフランスもまた「発車の 10 分前にならないと自分の乗るべき電車のホームが分からない」というシステムであるようなので、早く駅に着いても何の意味もありませんでした。しょんぼり。



リール行きの電車に乗る

列車の遅延が常態化しているからかもしれないけど、この「10 分前にならないと自分の乗るべき電車のホームが分からない」というシステムはどう考えても良いとは言えないと

思うのですが、これを改めようとは西洋人は思わないのかな…とか考えてしまいますね。特に駅のホーム待合室で電光表示板にホームが表示されるのを何十人もの方々が見上げて待っているのが常態化しているのを見るにつれ。

そして 16 時半過ぎ、やっと TGV7567 のホームが発表されたので妻と席を立て移動し、ホームに入ります。なお e-ticket 提示の用意はありましたが改札では特にそのチェックもなくホーム入り。これもフランスでは割と普通。

たぶん公共料金系は「タダ乗りしようと思えばできるけど見つかったら高額な罰金」のポリシーで運用しているのだと思います。

しかしホームに移動するも、そこに居る車両コードは TGV7567 ではありませんでした。あるいはこの電車が出てから次の電車がホーム入りするのだろうかと思いそのままそこで待ったものの、16 時 40 分を回ってもその状態だったので「おかしい」と思いつつやがて真実に気がつきました。どうやらこのホームには「行き先の違う 2 台の列車」が連結されており、改札に近い方の車両は TGV7567 ではなく「もう 1 台」の方だったようです。

自分は見落としたのですが妻によれば「電光掲示板で 2 台の列車が同時刻の同ホームに並んでいた」とのことでした。

つまり目的の TGV7567 の 12 号車とは、このホームのはるか先。これに気がついたので発車時刻が迫る中を妻と重い荷物を引きホームを奥へ小走りで移動します。これだから「10 分前に発表」とか止めて欲しいんだけど！無用に焦ることになるだけだし！

いよいよ発車時刻となったら「手近のドアから乗車して車内を移動」ができたかもしれませんが、2 台連結の関係であるいは目的の席にたどりつけないかもしれません。ともあれ息をきらしながら発車前に目的の TGV7567 の 12 号車にたどりつき自分たちの席に着席。

もっとも実は発車が 10 分ほど遅延していたようで、結果的にはここまで慌てることもなかったのですが。こういう時にアナウンスをちゃんと聞き取れないとつらいですね。さらに言えばリールは北駅の次の駅で、行先は違うもののもう 1 台の方に乗っていても席は違ってもリールには行けましたが。途中で車掌に「降りろ」とも言われまい（笑）。

リール到着



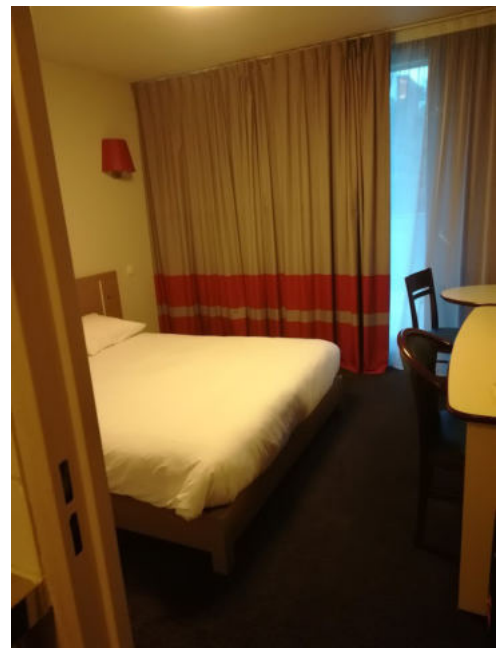
リールまでは鉄道でざっと一時間。道中では外を眺めているか、ネットをしているか寝ていることくらいしか、やることはありません。「絵になる風景が多いなあ」「風力発電が多いなあ」などと妻と思い思いに話しながら外の景色を楽しみます。日本とはだいぶスケールの違う、果てしない田園風景が延々と続きます。

そして 18 時前に何ごともなく列車はリールに到着。そろそろだいぶ暗くなってきましたので、さっそく駅を出てタクシーを拾いました。

運転手にかねて準備した「駅とグランパレとホテルの位置関係を示した画像」もスマホで見せ説明しようとしたものの、運転手は「Appart'City Lille Grand Palais」をちら見して「知ってる」と言いスタート。そのまま何ごともなく 5 分ほどでホテルの前に到着。最悪、自分の足で探すつもりもあつたんだけど、大荷物のある身としては助かりました。

チェックイン

ただちにフロントに入り、チェックイン手続き。特に問題もなくキーを受け取って、エレベーターに乗り部屋に移動。入口のシリンダー錠の噛み合いが悪いのか、2 回回さないと開錠やロックもされないのにややまごつきつつも入室。うん、悪くない部屋ですね。月曜朝まではここで 4 泊 5 日。まずベッドでしばしごろりと横になった後、起きて部屋のチェックを開始。無料 Wifi は普通に使えて、



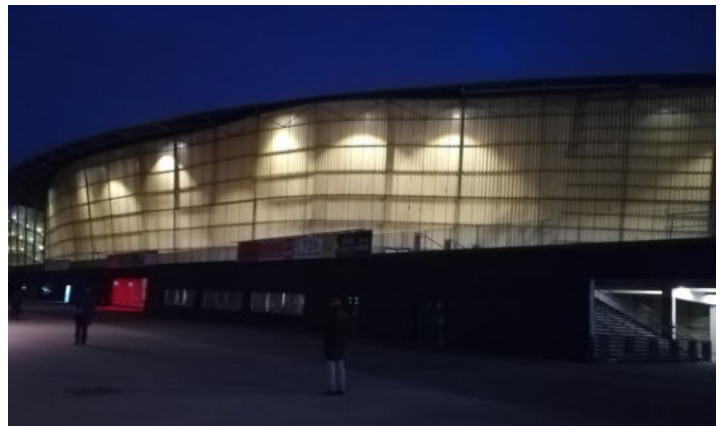
どうぶつの森も遊べます。あとは部屋の規約を読み備品をチェックします。

台所チェックをしていた妻によれば、レンジも冷蔵庫もキッチン用品も一通りあったがやかんとマグカップが無くて、コーヒーマーカーとデミタスカップはあったが使い方が日本のと違って良く分からなかった模様。コーヒーマーカーは鍋で湯を沸かして入れ、ボウルでカフェオレにもしてくれたいらしい（笑）。

周辺を散策

落ち着いたので 19 時前に妻と外に出ます。まずは今夜の夕食とスーパーでの買い出しをしなければなりません。出掛けにフロントで「明日の朝食バフェイ」を 2 人ぶんオーダー。「全日利用するか？」と聞かれるも、この周辺の朝食事情が不明だったので一応断ります。ホテルを出ると、ようやく薄暗くなってきました。Google Map に従い、近くにあったスーパーへ行き、レンチンの食材や普通の値段で買える飲み物などを購入します。

食材を抱えつつ明日からの GP リール会場であるグラン・パレに妻と下見。グラン・パレはほどなく発見でき、自分は中に入りましたがマジックの明日からの大会の掲示類は見当たりませんでした。それを探しつつ夜の施設内をうろうろ歩いていたらまだ



施設内にいた関係者に**不審者**として見られたようで質問もされたので、まごまご返事をしつつ会場を出ます。

リールの夜はまだこれからだしカジノまで足を延ばそうかなーとも思ったものの、寒いし空腹でもあるし時差ボケもあるのでホテル自室に戻りました。スーパーで買ったパンなどつまんで夕食を済ませると、まだ 20 時半ではあるものの普通に睡魔も襲ってきたので、時差の関係で 30 時間以上あった長い一日を終えて就寝。

2018年10月26日（金） バフェイの朝食



7時過ぎ起床。さすがにぐっすり眠れました。まだ外は真っ暗で、ついでに身体のアチコチが痛い。服を着て妻とともに1Fに降り、朝食のバフェイを試します。まあこんなものかなあ内容。1人€8.5ならばまず文句はない内容。もう少し脂肪と蛋白質分が欲しい

（乳製品と卵とソーセージのみの模様）かなあとも思えたものの基本オーケー。自分にとっては**大好きなクロワッサン**をおなか一杯食べられるしね！

クロワッサン数個に、ソーセージとスクランブルエッグ、あとは気分でバタートーストを加え、コーンフレークを1皿になみなみ牛乳。あとヨーグルトとオレンジジュース。

結局のところ、ホテルの近くでモーニング軽食を出すような店もなく、このバフェイも毎朝出す料理を変えるとということもまったく無かったので、基本的に以後の4日間はコレを毎朝食べていくことになりました。まあ毎日食べられる味なので構いませんが。



ホテルのエレベーター。よく見ると、一番下の列のボタンは両方共「開」なのでした。

思わず「閉」ボタンはどこかなと探したり、表示の間違いではないかと両方押してみましたが、間違いではなく両方とも「開」でした。

つまり待っていればほどなく閉まるドアをわざわざ急いで閉めようとする日本風の**せっかちさん**は、このフランスにはいないということなのでしょう

（実際「閉」ボタンつきエレベーターは、その後のパリも含めて、フランスでは見ませんでした）。

会場へ

朝食を済ませて8時過ぎに部屋に戻ります。開場は10時であり会場までは10分もみれば十分なので、1時間くらいのんびりした後で、本日は市内観光にひとりで終日出る妻を部屋に残し、自分はホテルを出て会場へ向かいます。



残念ながら少し**風邪をひいていた**ので、途中にあった薬局で効きそうな風邪薬と、ポケットティッシュを€6.85にて購入しました。まあ結局、滞在中は風邪は治りませんでした。

そしてほどなくグラン・パレの前に到着。結局は、昨夜の時点ではグラン・パレの建物内のどこがGPの会場だったかは不明だったのですが、はたして朝の開場前の会場前には**おれたちが一杯**。どうやら彼ら彼女らの後をつければ、会場までは迷いそうにありませんね。

そして10時になってゆるゆる入場開始。荷物検査があったので自分もリュックを

開けて中身を見せて通過。少し前の男が瓶の飲料を「これは持ち込めない」と言われ没収される一幕もありました。香港みたいに、飲み物持ち込み禁止なのかなあ。



後ほど判明しましたがどうやら「酒」がNGであった模様。

そして会場入り。すでにそこそこの人間がいます。女性は2%くらいいるかな？日本人は…多くなさそう。何人来ているのだろう。

リッカルド（黒服）がシールドの準備をしています。「ここにも居たのかリッカルド」と一瞬思ったのですが、言うまでもなくイタリア人のリッカルドは、もともと**アジアに来すぎ**なだけで元来はこちらの人間なのでした（笑）。挨拶をします。

メガラストチャンス・トライアルシールド

メガラストチャンストライアルシールドは固定4回戦。参加賞として本戦プレイマットが貰えるという大変にコスパの良いLCTなのです（€21.99）。10時25分に構築のための座席表が張り出されたので、さっそく着席。

レア的にはセレスニアっぽかったけどプールと相談してボロスのタッチ《高熱仮説》で構築。どうかな。

《軍勢の光》
《孵卵場の蜘蛛》
《生皮収集家》
《協約の魂、イマーラ》
《発展+発破》
《反応+反正》

取りレア

Creatures: 16

《松明の急使》
《気難しいゴブリン》
《ボロスの挑戦者》
《初々しい補充兵》
《ヴァーナーディーの盾仲間》
《刃の教官》
《刎頸の友》
《恐れなき矛槍兵》
《空騎士の軍団兵》*2
《鼓舞する一角獣》
《瓦礫帯の猪》
《駐屯地の兵長》

《槌落とし》

《押し入る荷役獣》
《軍勢の光》

Spells: 8

《溶岩コイル》
《裁きの一撃》
《光明の縛め》
《直流》
《罪人逮捕》*2
《高熱仮説》
《反応+反正》

Lands: 16

《ボロスのギルド門》
《イゼットのギルド門》*2
《平地》*7
《島》
《山》*5

Sideboard:

《薙ぎ払いの巨人》
※タフネス4以上がおらずに
《罪人逮捕》が腐ったときに

構築デッキ

Round1 Savignacさん 白赤緑 OO

順調にブンして勝ち。

Round2 Renardさん 青黒 O×O

G1 相手の土地が2枚で止まって勝ち。

G2 アドを取られて《血の刺客》が何度も戻ってきて負け。

G3 相手事故気味で《血の刺客》も早々に《溶岩コイル》で追放できて勝ち。

Round3 Bervetsonさん 青黒 ×OO

G1 《夜帷の捕食者》が止まらずに空から殴られ続けて負け。

G2 まあ勝ち。

G3 ブン勝ち。

というわけで3-0。をっと、次に勝てば明日の本戦は2バイでスタートですよ！

プライズは「4-0で2バイ+300チケ」で「3-1で300チケ」なので、この時点で300チケの獲得は確定でこのまま「ガチで戦って勝てば2バイ期待」は全然ありなのですが、実のところ、こうしてリールくんだりまでスタンのデッキを持参してきたものの、明日の本戦を6-2で通過できるとは**あまり真剣に考えてなかった**ため、こりゃトスして多めにプライズを貰って終了するのもありかもなぁと思いました。右手が味方さえすればこのデッキなら普通に4-0も十分に狙えたかもしれないにしてもね！

そこで相手が来るなりトスを提案。相手はやはり2バイは欲しく話は通じたものの（一応呼んだリッカルドに問題ないかを確認のうえで）「じゃあ100チケ渡すからどーだ」という感じ。うーん、ガチで負けでも300入るんだよなあ…と思ってこちらは500-100を持ちかけるも、あまりいい顔をしません（気持ちは分かる）。しかし「まあ確実に400チケ貰えれば上等かな」とも思えたので、手を打つことにしました。

Round4 Mattensさん トス

結果 400 チケを貰い終了。さっそくそのうち 200 チケで GP バーミンガムの「ウルザの塔」をゲットします。これ格好いいから欲しかったんだ。まあ翌月の「関東リミッツ」の賞品にして他人にあげちゃうんですが（笑）。ともあれ明日の本戦が 5-3 で不通過になってしまったら初日通過の鍵になる貴重な 1 勝を たった 100 チケと引き換えに放棄した自分を呪うことにしましょう（笑）。



会場チェック



シールドの合間に、ぶらぶら会場を歩いて散策。これはファナティック・パッケージを申し込んだプレイヤーのためのもので、この箱に参加を申し込むプレイヤーは自分の所有するチケットを放り込むだけで受付終了。あらかじめ受け取っているチケットには自分のプレイヤー番号などが書いてあるのです（GP ラスベガス 2015 のマスター・

パッケージでも似たようなことをやりました）。

すでに参加費は徴収済で「出るも出ないも自由」なファナティックだからできることとも言えますが、良い試みだと思います。

シールド 1 回戦終了時に正午を回ったので、そろそろ昼食にしようと考えて売店に行くも、やはり普通の 500ml ペットボトルのコーラ 1 本€3.5 という値段に眩暈が。普通のサンドイッチも€8 くらいすることから、朝食はたらふく食べたし昼食は抜きでいいやと思い、そのようにしました。ペットボトル飲料はやむなく会場内で 2 本くらい買ったのですが。



会場の入口にあるサイドイベント類の掲示。紙の立て看板でなく常時つけてある大型モニターです。これはカッコいい！ ぜひ将来日本でもこうして欲しいものだと思います。文明開化の音がします。

ラヴニカのギルド ドラフト

シールドが終わっても 15 時でしたのでドラフトにエントリーして、ほどなく立ちました。

1-1 《千の目、アイゾーニ》を「ゴルガリ決め打ちはどうかなあ」と思いつつも拾います。

まあ、一応は強いレアですし…。

1-2 《ディミアの偵察虫》で「やっぱディミアかな？」と決め打ち。しかし相手はどうやら単に 1-1 はレア取りをただけだった模様。以後もさっぱり諜報パーツや黒除去が上から流れてこないし、逆に良さげなボロズニアのパーツを続々と見送る失敗ドラフトに。有効パーツがまったく流れて来ません。

取るものがなく下の方で拾ったレアも、特筆すべきものはありませんしデッキにも入らず。

《敬慕されるロクソドン》

《模写》

《千の目、アイゾーニ》

《彩色の灯籠/

取りレア

Round1 Philipさん 黒緑 ××

失敗ドラフトなのでいいとこなしで終了。次いこ次。

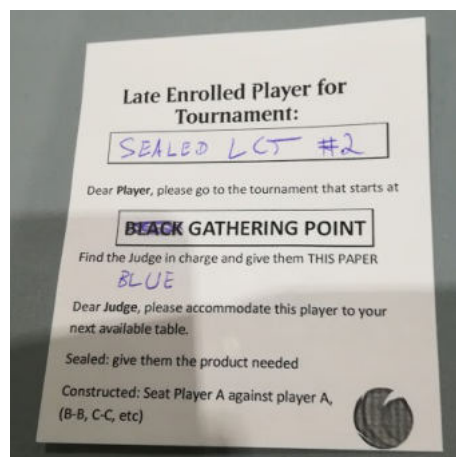
ラストチャンストライアルシールド

ドラフトを終え、16時半からの部に滑り込みで参加。すでに当初の受付（10分前）を終えたあとの「追加のエントリー」扱いだったのですが、受付で途中参加の案内を貰ってそのまま参加。これはいいシステム化。

コモンとアンコモンとも相談しつつ、ボロスでなくディミーアで構築。さて。

Round1 Hofsten さん 白赤 ××

一方的に押され、ライフも稼がれまくって負け。



《希望の夜明け》
《煤の儀式》
《鮮烈な蘇生》
《轟音のクラリオン》
《静める者、エトラータ》
《反応+反正》

取りレア

シングルエリミなのでこれで終了（1勝できなかったなのでデッキは記録しません）。18時を回ったので今日はこれで終了し、会場離脱。明日はいよいよ本戦です。

カジノでビデオブラックジャック



いささか風邪をひいていたとはいえ、今日はまだ睡魔にも襲われずに元気いっぱいです。このため予定通りに、今日は会場と駅の間にあるカジノに行くことにしました。このためまだ明るい中、ホテルと反対方向にtekutekute歩きます。そしてフランドル橋を北に渡って、ほどなく目的地のカジノに到着しました。

リュックをクロークに預けキーを貰ってフロアに入るなり、さっそくブラックジャックのテーブルを探します。しかしながらしばらくフロアを歩いたものの、どこにもブラックジャックのテーブルを発見できません。というよりもスロットマシンとビデオカジノしかなく、テーブル自体がありません。おっかしいなあ。

しかしこれで帰るのもつまらないので、「ビデオ・ブラックジャック」の台に座ることにしました。言語の切り替えボタンを最初は発見できずフランス語のままで遊んでいたのですが、どうやらミニマムは€2。これは懷にやさしいですねと思いつつ€20 を突っ込んでプレイ開始。基本は同じであるものの、最初はボタンの表示すらよく分からなかったので試行錯誤しつつプレイ。操作をミスしてやるつもりもなかった insurance を投じてしまう一幕も。ていうか最初は賭け金の減らし方すら分からずいったん上げたチップを負けても下げられずに賭けすぎて負けたりしました（笑）。

やがて最初に投入した€20 をすって「まだちょっと遊び足りないなあ」とばかりに追加投入した€20 も負けがかさんで残りの€1（もう賭けられません）になったところで、バウチャーをプリントアウトして終了することにしました。



€39 の負けはともかく、ちょっと物足りませんね。

テーブルでブラックジャック

この€1 バウチャーを現金化しようとキャッシャーの方に歩いていると、さっきは動いていなかった上りエスカレーターが動いています。ん？と思いつつ上ってみると、果たして2階には探していたテーブル台がありました。どうやら **19 時に**テーブルフロアが開くようでした。カジノは24時間営業だと思っていた自分にはちょっとだけ新鮮（笑）。そして奥に行くと、やはり当然ながらありましたブラックジャックのテーブルが。そしてミニマムを聞くと€5 とのこと。**安い！** これはもうひと遊びしていくしかありません。

今度はまず€100 をチップに替えたうえで改めてテーブルについて打ち始めて、いつものように勝ったり負けたり…を繰り返していたものの、結局は勝っていた分をちょうど使い切って原点に戻した所で、今夜はこれで「やめ」とすることにしました。すなわち今日の収支はビデオブラックジャックでの€39 の損失。しかしテーブルでそこそこ打てたので、楽しかったあ。ていうかテーブルのブラックジャックがたったのミニマム€5 で遊べるのだったらビデオブラックジャックを€2 で遊ぶことなんかなかったなあと心から思います。

基本的には同じ内容のゲームなのですが、人間相手にテーブルを囲むと面白さが段違いなのです。とりわけテーブルは「自分の後の人」の様子が見えるのがとても大きく。ブラックジャックなんて所詮は「引くか止めるか」だけを判断するだけのゲームなわけですが、テーブルは自然に自分の次に座っている人（またはディーラー）が次に引いた札（自分が見送った札）が目に入るので、その都度「ああ、引いていれば良かった！」「引かなくて良かった！」と一喜一憂できるのです。これはゲームでの自分の判断の是非をその都度評価できる「面白さ」という点で、とても大きいのです。

部屋で夕食



カジノを 20 時に出て歩いてホテルに戻ることになります。妻にメッセを入れて今夜の夕食の相談をした結果、夕食は「スーパーで食材を買い部屋のキッチンを使って作る」ことに決定。

スーパーで妻と合流して肉やアイスや飲み物やら調味料やらを買い込んで 20 時半過ぎにホテルに戻りました。フロントで明日の朝食のバフェイを予約し、€15 を支払います。

妻に焼いて貰った肉とか買ったアイスをおいしく

いただき、満腹になると眠くもなってきたのでシャワーを浴びて 21 時過ぎには就寝。

2018年10月27日（土） GP 本戦の朝

さすがに早かったようで、午前4時に目が覚めてしまいます。このためまだ書いてなかった昨日のマジック日記を書き DiaryNote にアップロードすると5時半。さすがに、もうひと眠り。



そして8時に起き、妻と1階に降りてバフェイの朝食。メニューは基本、同じ。朝の8時になっても外はまだ真っ暗なんです、こんな状況で「サマータイム」を採用してるのって馬鹿みたいですよ。

実際にはこの朝はサマータイムが冬時間に切り替わる「最後の日」だったのですが。

会場入り

今日は土曜日なのですでに会場は開いており9時からプレイヤーミーティングですが、1バイ持ちなので慌てることはありません。のんびり食事を終えて、ゆるゆると9時前にホテルを出ます。雨が少し降っていたので妻の傘を強奪して出て9時過ぎに会場入り。今日は入口の荷物チェックがなく係員が暇そうにしていたので聞くと「コーラはOK」とのこと。昨日引っかかっていたのはやはり「酒」だったようですね。明日は飲み物持参で。すでにプレイヤーミーティングは始まっており、ほどなく1回戦開始。自分の座席が掲示される場所を確認して、1バイであることも確認します。もっともほどなく「オンラインペアリング」の掲示場所を知ったので、結局はほぼ紙の掲示は見ませんでした。さらに受付で本戦プレイマットを受け取るなどした後、いよいよ2回戦の開始です。自分のGPリールはいよいよここからが本番です。

GP 本戦

今回のデッキは、どこかの完コピーでなく基本は自分で考えたグリクシス(青黒タッチ
ポーラスの赤)で参加。神話レアは自力で引いたもののみを投入の貧乏デッキです(笑)。

Creatures: 23	Spells: 13	Sideboard:
《悪意の騎士》*4	《原因不明の消失》*3	《原因不明の消失》
《万面相、ラザーヴ》	《喪心》*4	《軽蔑的な一撃》*4
《血の刺客》*4	《名声の代価》*4	《ヴラスカの侮辱》*3
《正気泥棒》*2	《多勢の兜》*2	《煤の儀式》*3
《囁く作業員》*4		《ポーラスの手中》*2
《静める者、エトラータ》*4	Lands: 24	《探知の塔》*2
《破滅の龍、ニコル・ポーラス》*2	《沼》*10	
《破滅を囁くもの》	《ギルド魔道士の広場》*4	
《夢喰い》	《蒸気孔》*4	
	《湿った墓》*4	
	《硫黄の滝》*2	

構築デッキ

Round1 BYE

Round2 Steneさん 赤 ××

G1 土地が2枚で止まって死亡

G2 赤単にブンされ終了。

Round3 Makisさん 白赤 ××

G1 何もできず負け

G2 何もできず負け

早くも1-2。このまま1-7の未来なのかなあ…ともちよっと思いました。昼を回ったので
昼食にしようかともブースを覗くもやはり長蛇の列。今日も飲み物だけ買って済ませます。

GP リールに参加した日本人プレイヤー

掲示してあったバーコードから URL を読み込んでオンラインペアリングが使えるようになったので、ふと待ち時間に「日本人は何人いるんだろう」と思ってペアリングの名前を読んでいくと…自分と糸さんの他には、日本人らしい名前は…どうも 1 人しかいませんね。

どうも GP リール本戦に参加した日本人プレイヤーは**3 人だけ**のようでした。バイヤーブースに東京 MTG が出ていたりするので会場にはもう少しは「日本人」の姿も見えますが、女性プレイヤーより神話レアよりずっとレアな日本人（笑）。ちなみにこのもう 1 人の日本人 K さんは知人ジャッジの知人であったようで、ほどなく本人のツイッターも確認。以後しばらくはフォローして、リールでの戦績を見守ることにしました。

Round4 Costes さん 白黒 OO

白黒騎士を使う、割と初心者らしい方でしたが、普通に回って勝てました。

Round5 Toshi さん 白緑 xOO

G1 鬼のようにトークンが沸いて虐殺されました。

G2 サイドインした《煤の儀式》を 2 枚も引けて、相手の場を綺麗にして勝ち。

G3 《煤の儀式》でまずトークンを 1 回流して、さらに降臨したニコル様で殴ります。相手が《黎明をもたらす者ライラ》が立ったので一瞬躊躇するも、その時点で 7 マナあったのでニコル様を反転させてライラを除去したら、相手は投了。

Round6 Henning さん 黒緑 OO

G1 相手の土地が 2 枚で止まる事故で勝ち。なおここで《静める者、エトラータ》に《多勢の兜》を装備して殴るという、一応このデッキでやりたかったことができたなら、さすがに相手は投了しました。

G2 相手の土地が 3 枚で止まる事故で勝ち。

をを、4-2 まで戻しましたよ。一応はあと勝ち勝ちで 2 日目に進出ですが…。

Round7 Plinateさん 青 xOx

G1 いなされて負け。

G2 相手の伸びが悪くビートして勝ち。

G3 いなされて負け。これで2日目はなくなりました。

Round8 Laddarさん 黒緑 xx

G1 こちらの土地が2枚で止まって、のち相手が《ゴルガリの女王、ヴラスカ》さんを出した所で除去を引けなかったので投了。

G2 相手に《ビビアン・リード》が着地。これを除去できなかったため、以後はアドを稼がれ続けて負け。

結果4-4で終了。自分で組んだデッキの割に人間に3回も勝てた予想外の好結果で気持ち良かったですね。もっとも赤系には全滅しているのですが（笑）。

当然ながら2日目には通過できませんでしたが、実は糸さんは2-3でドロップしていて、期待のKさんも散々に運が悪くて初日通過できなかったようなので**日本人は全滅**。

5-3で不通過だったら昨日勝ちを譲った（P.19）のを後悔したところではありました。

糸さんとカジノへ

本戦が終わると19時に。今夜は糸さんと夕食にすることを決めていたので一緒に会場を出てとりあえず駅の方へ北上します。夕食の予定など話すうち、糸さんが「まだカジノに行ったことがない」というのを聞いたので「それでは」と昨夜のカジノにまた行くことにしました（笑）。ミニマム€5なら初心者の糸さんにも問題なくお勧めできるので、そのまま19時に開いたばかりの2階に移動します。

そしてミニマムが€5であることを説明したのち、2人とも€60をチップに替えました。さらにテーブルのカードの用意（使用するカードのチェックやシャッフルなど）で10分

くらい待たされたのち、糸さんとブラックジャックのテーブルに座ります。

そしてゲームを開始。自分はいつものようにチップ1枚から始めて勝ったり負けたりしていたのですが、右に座った糸さんはチップ2枚からスタートしたうえ、さらに何気に横で見ていると負けてません。というよりも「勝ったらチップを1枚増やして続ける」という賭け方をしていたようですが、賭けチップが7枚か8枚積み重なっていたのですが（笑）。それで勝ち続けているので、みるみるうちに€5チップが糸さんの前に積まれます。

そのような状態で小一時間ほども打った後に、自分たちの左隣に座っていたオッサンが、自分と糸さんの右側に賭けようとしてしばしば手を伸ばしてきたりする（注釈）のが割とうざかったので、きりのよい所で「このくらいにしておきますか」として終了。

（注釈） こういうのも「テーブル」ゲームの楽しみと考えるべきなのですが、P.24でも書いたようにブラックジャックは上家の選択が下家に影響するので、それを嫌って一番右の上家席に座りたがるとか、あるいは上家がツイている時はその「ツキを貰いたい」ためにさらに上家に賭ける…というのは割と理解できる行動なのです。もっとも正直なところ、糸さんの右の席は空いていたので素直に席を移動して欲しかったのですが。

この時点で数えたら自分は€40、糸さんは€225チップを持っていました。自分は€20の負けで、糸さんは€165の勝ちということになりますね。すごーい。ともあれこの瞬間に今夜の夕食は**糸さんのおごり**と決定しました（笑）。



他人の金でステーキを食いたい（食いました）

もともと今夜は糸さんとゆっくり食事をしつつお話をするのがメインだったので、20時にはそのままカジノを出て、カジノ横のレストランに入りました。英語のメニューもない店なのですが、翻訳ソフトの助けも借りつつ2人でフランス語のメニューと格闘して、ビールとステーキセットらしい料理を注文しました。普段はお酒は飲まない自分ですが、今夜は**聞いたことは忘れる**エクスキューズのためにビールを1杯だけ口にします。いやまあ、先立って日本のTVで見た「リール観光」番組の中でもうまそうに地ビールを飲んでいたというのもあるのですが。

ただし「地ビール」でなければやはりフランスのお勧めは「ワイン」ではあった模様。

あとは料理をおいしく頂きつつ、糸さんとマジック業界のことや普段の大会運営の苦労話などを含めたよもやま話を色々します。「ここなら誰かに聞かれる心配はない」と前置きしつつ糸さんにたっぷりと語っていただきましたが、さすがに内容は書きません（笑）。



糸さんのおごりとはいえ、特に前菜やスープ等を頼むこともない単品ステーキでしたが、ポテトや野菜を含めてほどよく満腹になりました。もちろん文句のない美味しさです。



飲み物などを含め総額€60 ほどで、糸さんのおごり（大事なことなので2回書きました）。このステーキの料理セットは結局1人€22でしたが、正直なところどうでもいい露店のホットドッグが€8 とかすることを考えると**馬鹿安**と言っていいんじゃないでしょうか。いやまあどのみち僕の支払いはゼロだったのですが（大事なことなので以下略）。

シャワーが壊れる

21 時を回る頃に楽しい食事を終えて、糸さんとぶらぶら歩いてホテルへ戻ります（同じ宿でした）。帰る前にいつものスーパーで飲み物でも買いますか…とも思ったら、土曜の今日は21時半に閉店していて果たせず。さらにそのままホテルに戻ったら、建物玄関が閉まっていて聞いた4桁の番号を入れても開かないトラブルが。まあこの時は、ちょうど通りがかった他の客に開けて貰ってことなきを得たのですが。

糸さんと別れて自室に戻り、シャワーを浴びようとしたら、シャワーヘッドが**ぽつきり**と。

あわわわわわ。何もしてないんだけどな。ホースが引っかかったのでホースを引いて外そうとただけですよ（それは何もしなかったと言うのか）。修理代を請求されたりもするのかなあ。ともあれ、これは明日朝にフロントに連絡するしかありません。

最後のトラブルにいささかしょんぼりしながらも、今日の楽しかったマジック日記を書き DiaryNote にアップして、23 時前には就寝。



2018 年 10 月 28 日（日） サイドイベントの日

午前 3 時に目が覚めてしまいました。ただし丁度この日は「サマータイム終了」の切替え日であったので、これは昨日なら午前 4 時、つまり 5 時間くらいは寝た計算になります。やはり面倒くさいなサマータイム。ていうか何でこんな半端な日に切り替えるのかなあ？起きてしまったのでだらだらとネット。GP リールの本戦カバレッジが出ていたので確認。自分は 670 位。参加者は 1339 人だったらしいので、ちょうど中央です。それでもやはり**日本人の中ではトップ**（ただし日本人は 3 人）であったようですが（笑）。



5 時半過ぎに寝直して、8 時に起きて朝食のバフェイ。確かにに支払いを朝フロントでやりました（伏線）。

サマータイムが終わったので 8 時だと外が明るいです。やっぱ、こうだよね。

さらにフロントにシャワーの故障を報告。

ラヴニカのギルド ドラフト

開場の 9 時前にホテルを出てから 5 分も歩くと会場。やはり会場から近いのはいいですね。出掛けにホテル自販機でドリンクの購入も忘れない（€2.5 でした）。今日はサイドイベントで遊ぶしかないのでドラフトにエントリーするか…と思ったらサイドイベント受付は割と長蛇の列。€15 払って参加登録し、待ち時間にジャッジステーションで「変わり谷」プロモを獲得。ドラフト自体は、さすがにほどなく立ちました。



1-1 どうでもいいレアとアンコモンを流し《巧みな叩き伏せ》でディミーアの決め打ち。しかしその後で、ディミーアのパーツが全然流れて来ずボロスがどしどし流れてきたので「正解はボロスだったのかー」と失敗ドラフトだったかと思いつつ。

《地底王国のリッチ》
《イオン化》

取りレア

2-1 あるいは今後の展開では緑を混ぜるのもありかと思えたので《地底王国のリッチ》。色を増やすほど強くも高くもないレアだったので結局は混ぜませんでした。

3-1 すでにパーツに加えたいものがなかったのでどうでもいい《イオン化》を拾います。何とかディミーアのコモンをかき集めてデッキにしましたが、諜報・除去がやや薄め。ちなみに下もディミーアでした。

Creatures: 18

《物盗りインプ》	《背骨ムカデ》*2
《壁過の達人》*2	《隠された影》
《ヴィダルケンの催眠術師》*2	《冷酷なゴルゴン》
《泥棒ネズミ》*2	《詩神のドレイク》
《囁く情報屋》	《猛り狂う聖像》
《ディミーアの密告者》*2	《光を遮るもの》
《疫病造り師》	

Spells: 6

《原因不明の消失》
《概念の雨》
《巧みな叩き伏せ》*2
《致命的な訪問》*2

Lands: 24

《ディミーアのギルド門》
《島》*7
《沼》*8

Round1 Dimさん 青赤 xOO

構築デッキ

G1 全般に押され気味で、《パルン、ニヴ=ミゼット》まで出てきて（これはすぐ除去できたにせよ）焼かれて負け。

G2 勝ち。

G3 勝ち。

Round2 Michelさん 白青黒赤緑 xx

G1 土地が2枚でしばらく止まって負け。

G2 ダメージレースのすえ負け。

20 チケを貰って終了。まだ11時です。さ、次いこ次。

追加のプレイマット購入とユーロ残

続いて正午からの「ダブルアップシールド」に
€35 を支払ってエントリー。1 時間空いたから
スタンのデッキを持ってくればターボでも 1 回
遊べたねと思いつつ、昨日の反省からさらに
デッキを強化すべく（安い）シングルのレアを
何枚か購入します。



さらに自分のために€30 出して別の「ウルザの塔」のプレイマットを購入。かっこいい。
もう少し買いたいプレイマットもあったんだけど、財布の中の残りユーロと相談して自重。
この建物内に ATM があったなら即座に追加ユーロをおろしたんだけど、聞いたら建物の
外らしいんですよね…時間的にもそれはノーサンキューということで。明日の夕方までの
観光も含めて不自由なく過ごすには、たぶんあと€100-200 はあったほうが良さそう。

ラヴニカのギルド ダブルアップシールド

正午になったので開始。スイス固定 3 回戦の賞品 2 倍シールド
です。まずはレアチェック。割と残念め。

使えるレアがないのはまだしも、コモンやアンコモンを見ても
どの色の除去も本当に皆無なプールに絶望。その中でボロスは
クリーチャーが比較的充実しているように見えたので、

クリーチャー 18 体の前のめりデッキ。残り 6 枚のスペルも《降格》とか《宇宙粒子波》
とか《狂った怒り》とか、あくまでも相手のブロックを封じる前のめりのものでしかなく。
相手のクリーチャーを除去する手段が何もないものの、右手が回ってクリーチャーを置き
続けて殴り続けられれば 2 勝くらいは行けるのではとも思ってスタートします。

《真夜中の死神》
《奇矯なサイクロプス》
《秋の騎士》
《速太刀の擁護者》
《彩色の灯籠》
《寺院の庭》

取りレア

Round1 Gossetさん 黒緑 ××

- G1 なんでもこのデッキで土地が10枚並ぶまでにクリーチャーを3体しか引かないかなー。
相手の豊富な除去の前に打点を稼げず負け。インドリクが2体も出てきましたし。
- G2 こちらのクリーチャーは除去され大型が並んできて負け。

Round2 Provostさん 青黒緑 O××

- G1 回って勝ち。
- G2 クリーチャーをぜんぜん引かなくて負け。
- G3 クリーチャーをぜんぜん引かなくて負け。

あかん。このデッキの18枚もあるクリーチャーは一体どこに…。

これで次は賞品2倍でも「勝てば40チケ、負ければゼロ」まで転落。40チケ（4パック相当なので千円分くらいはあります）目当てに続ける手もあったものの、心が折れたのだいたいこういう時は「なんの成果も得られませんでしたあ！」になるのと、これからリール美術館に行く予定もあったため「この1時間を観光に割こう」と判断してドロップ。手持ち残りチケット120点を追加の安いプレイマットとパックに変換。できればここでさらに200チケを稼いで「ウルザの塔」プレイマットをもう1枚入手したかったな…。ブース内でお仕事の書き物をしていた糸さんに挨拶して、会場を離脱します。最後はちょっと不完全燃焼でしたが、これで自分のGPリールは終了です。

自由の国フランス

15時過ぎに会場を離脱。すでにホテルに戻っていた妻と連絡を取り、グラン・パレ駅で待ち合わせることにして、自分もグラン・パレ駅までグーグルマップを見ながら徒歩移動。グラン・パレ駅の地下への入り口に到着すると、30歳くらいに見える女性が声をかけてきました。「売春かな？」とネタ期待に胸をふくらませつつ聞くと「お金ください」

とのこと。がっかりして断ってエスカレーターに向かいます。見たところこの女性は駅に入る人間に片っ端から声をかけているようでした。特にボロボロの服を着ているでもなく普通のジャケットを着ていたし、働けばいいんじゃないかなあ。毎晩スーパーの前の路上でも同じ兄ちゃんの乞食が定位置を占めていたし、これがフランスなのかあ。

さらに地下でスナックでも買うかの自販機前で財布を手にもぎついていたら、兄ちゃんが声をかけてきて操作を教えてくださいました（知ってたけど）。購入後「メルシー」と言うので兄ちゃんも「カネをくれ」と言うので、財布の中の小銭をよく見ないまま渡す（たぶん10円くらいでしょう）。これがフランスなのかあ。コジキ大国フランス。しかしまあ、脅迫されたり身の危険を感じたりはないだけマシなのかな…。

リール美術館

妻が来たので切符を買って地下鉄へ。そして République - Beaux Arts 駅で降ります。地上に出ると目の前に ATM があったので試験的に€100 をおろします（普通に成功）。



あとは広場を歩き、ほどなく 16 時前にリール美術館に到着しました。あいにく改装工事中で、いささか問題のある外観ですが格調の高い建物ではあります。ただしこの辺はリールの中心部なので、ただの市役所とかもやたらと格調の高い石造りだったりするので下調べをせずに美術館に行こうとすると迷うことがあるかもしれません（笑）。

ただちに入館料€5.5 を 2 人分払って妻と入ります。妻は昨日もすでに 1 人でここに来て下見の観光を済ませてくれたので、入り口でリュックサックなどを預けたのち妻の案内に従い 2 階にあるルーベンスの「キリスト降架」の絵の展示場所に直行しました。

今回の自分については古今の美術品の鑑賞はともかく、ここに来た目的の半分以上はこの「キリスト降架」の絵の前でアニメ「フランダースの犬」での**ネタ写真**を撮るためであつたわけでもあるのでした（笑）。言うまでもなくこの「キリスト降架」はアニメではネロが観たがつた名画であり、あのラストシーンを飾る名画であるわけなのです。

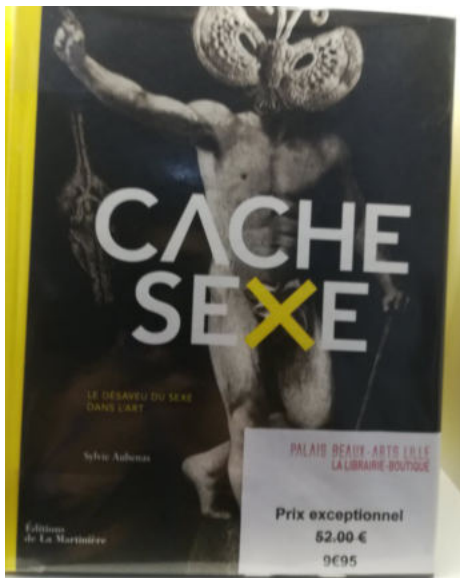
ほどなく2階にある目的のルーベンスの絵の前に到着。でかい。絵の写真撮影は別に禁止ではなく（ただしフラッシュは厳禁）、場内での観光客もまばらなので、さっそく絵の前のベンチの付近を他の客がいなくなるなり陣取って、日本から持参したパトラッシュのぬいぐるみを出して、自分が寝ている風の写真を撮りました（本書の表紙）。基本すいていたので、原作準拠で他には誰も写りこんでいなかった写真も撮ったのですが、絵の大きさが分かったほうがいだろうということで表紙は他の観光客も写っている写真にしました。



なおこの「もう疲れたよ」というセリフは原作のアニメ「フランダースの犬」の最終回にはなく「ネットでのネタ」であることが分かっているのですが面白いのでこのままで。

土産に美術書を買う

その後、改めて広い美術館の中をゆるゆる1時間ほども歩き回って古今の美術品を鑑賞し、多くは写真にも撮りましたが本書ネタとしては特筆すべきものでもないので割愛します。リール美術館は18時までですが、粘ることもないので17時過ぎに「もういいかな」とばかりに退出することにし、帰る前に売店でお土産を漁ります。



すよつまり（笑）。

妻は「表紙がw**変態仮面**w」
とか笑っていましたが、ふと
「これ定価ならちょっと無理だ
けど€10 ならネタ土産としては
ありじゃね？」と思えたので
「18 禁のエロ同人の漫画」を
描いている友人と「下ネタやら
包茎ちんこ（＝象さん）は出す同人ギャグ漫画」を描く友人への土産にレジで2冊購入。

ある本が定価€52 のところ€9.95 と大幅な割引価格で
並んでいたのふと手にとって開いてみたら、これは
「西洋美術で性器はどの様に描かれてきたか（または
隠されてきたか）」を論じている 200 ページを超える
厚手の美術書でした。フランス語はまったく読めない
当方ですが、一応はまじめな研究書のようにも見え、
何よりも写真も多くそこそこ眺めていて面白いです。
まあ「ちんこやまんこを葉っぱや構図で隠していたり
いなかったり」という写真が大量に並んでいるわけで



ホテルに戻る

リール美術館を出ると 17 時過ぎ。ふと「今からでもまだ GP 会場に戻ったらドラフトに
エントリーできるなあ」とも思ったものの妻もいるしさすがに自重。ではそろそろ夕食に
しましょうかと夕暮れのド・ゴール広場を歩きましたが、日曜日は多くの店が休みなので
全体に寂しく、盛況なのは酒場くらいで今ひとつ僕らの心をつかむ飲食店がありません。
結局、メトロでそのままグラン・パレ駅まで戻りました。グラン・パレの駅前でも、特に
これといった店はないので、結局、今夜もスーパーで買ったもので適当に済ませることに。

ホテルに戻り、フロントで明日も朝食バフェイを予約して支払い。結局は、朝食はここのバフェイで全部済ませてしまいました。さらに明日のチェックアウト後に駅へタクシーに乗る必要があり、ホテル前は流しのタクシーが通る場所でもないのに、フロントに駅までのタクシーを手配して貰いました。リール駅は1つだと思っていたので「どっちのリール駅だ？」と聞かれて少々まごつくも、リール・ユーロッパ駅だと伝わりフロントは目の前で電話を入れました。これで明日は朝食後に8時にホテル前で待てばいいようです。

あとで調べたらリール・フランドル駅というのもありました

部屋のシャワーはさすがに無償修理されていました。妻によれば朝にすぐ来たようでした。



あとはスーパーで買った€3.56のレンチンのパスタなどを、おいしくいただいたの夕食。食後にアイスクリーム。アイス900mlで€2.56は安いなあ。

基本「外食」でなく自分で作るようにするとだいぶ食費は安上がりになるのが西洋圏のデフォですね。



荷造り

食事を終えてシャワーを浴び、19時過ぎにベッドに横になってそのままいったん沈み、22時前に起きて本日のマジック日記を書いて DiaryNote にアップします。

あとは明日のチェックアウトのため、荷物をまとめます。マジック関係は飛行機の中ではアクセスする必要はないので高いカードが入っていないでもないデッキケース以外の物は機内預かりの大バックに整理して詰めます。あと使ってもう帰国まで着ない下着類も。今回持ち帰りのプレイマットは8枚。もうちょっと稼いで持っていきたかったなー。



2人とも荷造りを終えて明日は服を着て出るだけの状態にしてから、1時には改めて就寝。

今回のスタンデッキ (P.26) は、どこかのレシピの完コピでなく基本はすべて自分で作ったものなので、それが人間相手に3-4できたので、実は割と気を良くしていました。さらに回っていて次に述べるような明確な改善点も発見されたので、このデッキはなお欠点を改良したうえで12月のGP静岡にも持参することにしました。

- ・赤系には0-2しているので、これが当面の最大の課題。
- ・サイドインした《煤の儀式》は常に良い仕事をしたのでメイン4でいい感じ。
- ・主力の《静める者、エトラータ》は予想通り、これで勝たなくても十分に強い。
- ・さすがに《多勢の兜》は抜こう。これで勝てる相手ならなくても勝ってる。
- ・《正気泥棒》はさすがにメイン4でいいので、高くもないし買い足しましょう。

etc...

…もっとも直してもGP静岡では人間相手には2-4-1しかできなかったんですが(笑)。

2018 年 10 月 29 日（月） 朝食とチェックアウト

6 時前には目が覚めました。

1 時間ほど時間をつぶしてから、7 時に
1 階に降りて朝食バフェイ。

今朝は飲物をコーヒーにしていますが、
基本は毎日同じ内容でした。不満なし。
7 時半過ぎには朝食終了。部屋に戻り、
妻の歯磨きと化粧を待ち忘れ物がないか
確認をしてから 7 時 50 分には部屋を出ました。



チェックアウト時に若干トラブル。今朝も含めて毎朝 4 回利用した朝食バフェイの料金は
その度、前夜か朝に現金で支払っていたわけですが、今朝の女性係員によると「2 回しか
支払われてません」とのこと。入金記録が 2 回しかついていないとのこと。何ですと。

瞬時に「いつもの男性係員が**チョコ**…何か不手際でもやったかな」と思って「いつもの
男性スタッフに支払ったのですが」と押し問答するも、証拠もなく。領収書を受け取って
いなかったこちらの落ち度もあるし、そろそろ 8 時のタクシーも来ている筈なので折れて
「分かりました。いまは支払いますが後で分かったら返金してください」と伝えて€30 を
払ってチェックアウト終了。



2 人で荷物を引いてホテルを出て「さて
タクシーは…」と思ったら、向こうから
周囲を見渡しながら男が歩いてきたので
「タクシー？」と聞くとその通りでした。
ただちに荷物をトランクに入れて乗車。
目的地も正しく伝わっており、何もなく
8 時 10 分過ぎにはリール・ヨーロッパ
駅に到着。支払いをして礼を言い終了。

駅の両替所でボラれた（？）

あとは8時42分発のパリ北駅行きに乗る必要があるので、例によってホームの表示待ち（やはり同時刻の2台表示でした）。あと30分くらいありますので駅の両替所で現金を調達しておくことにしました。両替所で1万円札を出して両替を依頼すると「€86」と言ってきたので「OK」と言うと、向こうがレシートと一緒に渡してきたのは「€69.36」から手数料を引いての「€59.86」。

思わず目をむいて「冗談じゃないキャンセルだ」と言ったら「俺は金額を提示してお前はOKと言った。キャンセルはできない」と断られます。やられたのか…。

確かに数値的にも自分の聞き逃しというのが事実だとは思う（※）のですが、感覚的には1万円は€80くらいと思っていたので€60も返ってこなかった事実にはショックを受けます。まあ手数料を€10も引いている時点で割が悪すぎたのではあるのですが、次からは必ず「口頭でやらないで数字を見せて貰ってから両替をしよう」と固く誓いました。

この日のレートは€1=126.5円というところなので「86」は逆に安すぎて正しくない、ということには即座に気が付くべきではありました。

この時点では「まさか駅の両替所でボラれるとは！」とぷんすかしつつ、来た電車に乗り、購入済の席に座ります。今回は1階の二等客室です。

15分遅れで電車は9時にリール・ヨーロッパを発ち、パリ北駅へ。

車内の検札

あとはのんびりとパリまでの1時間の車窓の旅を楽しむのみでしたが、今日は少し楽しいイベントがありました。妻と座席に座っていると、6歳くらいの男の子が近寄ってきて、何やら話しかけてきて小さい機械を突き出してきたのです。

？？？と思っていたら、その子の後ろの車掌が「e-ticketを出してください」と英語で言ってきました。ああそうか検札なのかと気が付いたので、スマホのOUIアプリを立ち上げ自分の購入したチケットのページを開き画面にバーコードを表示させると、男の子は

機械でそれを読み取って「ピッ」と鳴らして、車掌がお礼を言ってきました。

なるほど未来の車掌になるべき息子？への教育なのかな…と思ってそのまま見ていたら、男の子は車掌に機械を渡すと、ととととと元来た方へ走っていきました。あるいは何か体験学習のようなものかなとも思ったものの、どうやら単に乗客の男の子が車掌の仕事をみて「それ、やってみたい！」という要望を出してそれに車掌が応えただけのようでした（笑）。いやまあ、やはり未来の車掌を育成する目的に沿っての行動かもしれませんが。ともあれ両替所の一件でささくれていた自分の心を癒す一件でした。ガキと車掌に感謝。

パリ北駅

10時にパリ北駅に到着。空港には夕方に向かえばいいので、これから半日のパリ市内の観光です。このため旅行鞆を含めた荷物を木曜と同様に駅のコインロッカーに預けます。列車を降りて今度は迷わず8番ホームそばの地下に直行し、手荷物検査も普通に通過してコインロッカーに荷物を預け、またしても身軽になりました。

本日のパリ半日観光も基本ノープランなのですが、やはり定番のルーヴル美術館は覗いておこうかなということで、移動を開始。相変わらずの北駅の迷路構造に迷いつつ、まずはメトロでシャトレ（Châtelet）駅へ向かいました。

マクドナルド

シャトレ駅で10/11番出口への長いトンネルエスカレーターを通り、10時40分過ぎに地上へ出ました。Google先生の助けを借りて、あとはこのリヴォリ通りを歩いていけばルーヴル美術館にたどりつけそうです。

歩いている道中、曇りでもあり割と寒いので暖かい飲み物でも飲もうかな…ということでマクドナルドに入ります。ちなみにフランスのマクドナルドは赤なくて緑の店舗。

店内ではパリにもあったマクドナルド自販機にチャレンジしたものの、クレジットカード決済がなぜかはねられたので、現金での購入に切り替え。

あとは発券されたレシートをカウンターに持って行ってレジで決済をして完了。

寒い中でのコーヒーとホットチョコレートおいしかったです。もっとも、妻のホットチョコレートは「薄味だなー」とも思っていたら底の方に大量に溶けてないチョコレートが沈んでいたそうですが（笑）。



マクドナルドを出て、さらにぶらぶら通りをのんびり歩いてサンジェルマン・ロクセロワ教会を横目に眺めながら通って、いよいよ「ルーヴル美術館」が見えてきました。

パリ市内の両替所

ルーヴル美術館の近くに来ると露骨に土産物屋が軒を連ねるようになり、さらに両替所があったので、リール駅でのボッタクリ疑惑の検証も兼ねて再度の両替にチャレンジします。今度は一万円札を出してから、まず両替前にこれが何€になるのかを聞くと「59.77」という数字を電卓で見せてくれました。えっ…と思って今度はそのまま断ります。ここでも1万円では€60しか買えません。

うーん…リール駅のアそこが特別ボッタクっていたというわけでもないようだなあというよりも誤差みたいなものですが微妙にリール駅の方が良い（涙）。とはいえ€1=167円はさすがに冗談みたいなレートです。もはやクレカのATM利用と決済しかあり得ません。

帰国後ただちに決済したら€1=129.4円でした。1万円なら€77にはなります。

ルーヴル美術館に入るのを断念

そうこうするうち 11 時半、どうやらルーヴル美術館の敷地に入りました。ここでしばし

有名なピラミッド型の入口を中心にして、キャッキヤウフフと妻と楽しく写真を撮ります。それから「では中に入るには」と探したものの、容易に予想はできた展開でしたが、ピラミッドのそばの入口は長蛇の列で

「当日券」の購入列を探すと「**1 時間半待ち**」という掲示を発見。まあ意外ではありませんでしたが。意外ではなかったものの、うーん…な気分。もともと 16 時頃には空港に向かう予定でもあったので、入場で 2 時間もかかるとなると今からルーヴル館内観光にあてられるのはせいぜい良くて 2 時間くらいか。



もとより「ちゃんと見ようと思ったら丸 1 日でも足りない」と言われるルーヴル美術館であるにせよ、さすがにこれではそれほど楽しめそうにありません。何よりこんな寒い中をこの屋外でただただ 2 時間立ち続けて待ちたくもありません（風邪も治ってないし）。本気でルーヴル美術館に入るつもりがあったのならネットでチケットを予約購入して臨むのが正解なのだなという教訓を新たにしつつ、正午前にルーヴル美術館を後にしました。

ねんがんのカフェで優雅な昼食

本日午後の残り観光は、オペラ・ガルニエの先にあるショッピング・モールでの買い物かなあ、と相談しつつ北に歩きます。そして時間的にも昼食かなとも思えたのでピラミッド駅のそばにあった Le Royal Opera というカフェで昼食にしました。暖かい屋内の外の見える席に座って（窓際の席は



だいたい禁煙席っぽい)、まず自分はホットミルクを注文し、妻はコーヒーを注文して温まります。うん、おいしい。

さらにちゃんとした昼食の料理として自分はオムレツを頼み妻はクロック・ムッシュを注文。

値段が€11 だったのでさほど期待していませんでしたが、やがて出てきたオムレツを見ると**想像の倍**くらい大きさ。うーん、これはお得感。この店は当たりかな。もちろんおいしいし、これは高くないでしょ。まあ日本円で言えば 1500 円くらいにはなるにしても。



むしろホットドッグ€8 とかドリンク€3.5 とか、テイクアウト系がコスパが悪い印象。

気持ちよく食事を済ませて会計。サービス料が 15% 乗って総額€37.4。うん、ちゃんとしたパリの食事としては、ぜんぜん OK。午後 1 時に退店。

オペラ・ガルニエ方面でショッピング

昼食を済ませて、ぶらぶらとオペラ・ガルニエ方面に。さらに土産物屋で I Love Paris の T シャツを買う。ちょっと高いと思いつつ諦めて€10 (€9 の店で買っておくのだった)。さらに文房具屋でのんびり買い物を楽しんだりもします。フランスでの葛飾北斎グッズの盛大な売りっぷりに苦笑。

さらにオペラ・ガルニエを横目に観光ガイドにも載っている大手デパート「Galeries Lafayette」に入ります。とはいっても観光ガイドで名前を見ただけで、どういう内容のどういうテナントが入っているどういうデパートかも知らない状態のまま来たのですが。目的のデパートは交差点を囲んで 3 軒あり、「どれがどれ」からスタート。適当に入った

最初の建物は紳士服中心だったようなので、トイレを借りてから退出。

ここのトイレは無料で数個の個室があって助かりました。男女兼用で満員でしたが。

さらに雑貨のある建物を経て書店のある建物へ。書店では「こんなもんかなあ」と思いつつ土産にする本はないかと物色していたが、妻が奥のほうに「日本漫画コーナー」を発見。これこれ、こういうのを探していたのですよと思いながら並んでいる漫画を片端からチェック。アルペジオや克・亜樹の漫画があったら秒で買っていたのですが、残念ながらそれらは見当たらず。しかし森薫「乙嫁語り」1巻仏語版があったので、喜んで手に取りレジへ。

森薫せんせいのゆるい巻末漫画もおフランス語で！

その他、食器売り場の建物を回ったり地下の菓子フロアを回ったりして土産も買って「そろそろいいかな」と思って15時20分過ぎにデパートを出ます。



北駅

メトロに乗り北駅へ向かい、16時前に北駅に到着。あとは荷物を回収したのちに空港へのメトロに乗るだけなのですが、やっぱりそれなりに迷う北駅**ダンジョン**。現在、自分の居るフロアがそもそも何階かもわかりにくいし、現在のフロアの上下にフロアがあるのにエレベーターが「上」にしかなかったり（傍目みんなまごついてました。自分が見送ったエレベーターが再度このフロアで止まってまだ同じ人が乗っていたりもしたし）。あとフランスの鉄道は1回買った切符で改札を何度でも出入りできるのはいいのですが、実際にそうする必要がしばしばあるうえ（トイレなど）、現在改札の「中」に居るのか

「外」に居るのがたいへんに分かりにくいのです。すでにロッカーから回収した重いケースを引きながらあちこち迷う羽目になったので大変にいらいました。

渋谷駅より酷いかもしれません。設計者出てこいのレベル。

キオスクのエロ本

北駅の駅ナカにキオスクがあったので、覗いて探すと、ありましたねフランスのエロ本。ビニール梱包状態であり自分の身長だと背伸びが必要な棚の上のほうに置いてあるとはいえ、誰でも手に取って購入が可能な状態ですね。正直どうでもいいのですがネタのために一冊購入。後で開封したら当然ながら無修正でした。



CDG 空港

何とか 17 時前にはメトロに乗車して座り、30 分後には CDG 空港駅に到着。ターミナル 1 へのシャトルに乗り、その 10 分後にはターミナル 1 に到着。ただちに中国国際航空の搭乗カウンターの長い列に並び、その 30 分後にチェックインを終え、またもチューブのエスカレーターに乗ってイミグレに移動します。イミグレ前では係員が「あなたたちはこっち」と人の並んでいない横道に案内されたので「優遇？」と思いつつ進んだら遠回りしてその長蛇の列の最後尾に着きました。先の列は EU パスポート所持者のためのものだった模様。日本パスポートはここでは優遇されるわけではありません。**逆だよ逆。** 18 時 40 分、イミグレを通過。

空港売店の雑誌売場で「プレイボーイ」と「Lui」が床近くに陳列。**子供が簡単に手の届く**ところに置いていいのかアレ。普通に表紙からすでに乳首が出てますし、中身を確認しませんでした（ビニールもかけられていません）ソフトコアな性器はたぶん普通に写っているはずです。まあ、小学生の手の届く高さには置かないほうがいいんじゃないかなあ…。



セキュリティー

またチューブのエスカレーターに乗ってセキュリティーに移動。セキュリティーゾーンに入る前の航空券チェック機に自分の北京行きのチケットをかざすとエラーになって通してくれません。何度か試みてもダメで、いささかパニックになりつつある所で、後ろにいた日本人のオッサンが「何やってんだよ！」と怒鳴ってきたのでいささかびびりつつ「ああすみません。お先にどうぞ」と譲る。しかしそのおっさんも券をかざしたらエラー。なぜか普通に通れる人もそこそこいるのですが、多分ソフトか機械の不調でしょう。割とあちこちシステムがちゃんと動いてないよねというのがフランスの印象。結果として通れない人がたまってきたので、係員がゲートの横のポールを開けてチェック抜きで通すようにすると、そのオッサンは舌打ちだけして何も言わずにそのまま先へ進みましたが正直なところこちらを怒鳴りつけたの**ひとこと謝れよ**と思いました。そんな不愉快な気持ちを抑えつつも 19 時、セキュリティーも通過。

離陸

まだユーロも余っていたので免税店で「土産にフランスワインを買っていくか」と思ったものの、チケットを見せると係員が「ワインは北京空港の手荷物で没収されるのでお売りできません」とのこと。そうだったー！ 仕方ないのでいつものM&Mなど買う。

あとは何ごともなく 19 時半に 934 便に搭乗し、やがて離陸。さらばフランス。

パリから北京までの空の旅はおよそ 12 時間ほどになります。

21 時半頃に機内食（選ぶ余地もなく魚料理だけでした）をおいしくいただいたら、あとは寝ているしかありません。



ユーロのお値段

フランスを去るにあたって、購入したユーロの値段を改めてまとめておこうと思います。

日付	内容	1 ユーロ
-	だいたいの為替レート（参考）	約 128 円
-	ATM で合計€750 を獲得、帰国後ただちに精算	129.4 円
10 月 25 日	ノートルダムの両替所で 1 万円で€70 余り獲得	142.8 円
10 月 29 日	リール駅構内の両替所で 1 万円を€59.86	167.05 円
10 月 29 日	ルーブル前の両替所で 1 万円を€59.77（未遂）	167.3 円

まあ ATM キャッシングの**前倒し返済が最強**なのは解ってましたし、金額に関わらず手数料を一律€10 取るらしい所で 1 万円だけ両替しようとするのは割は悪いだろというのはわかりますがさすがに一部**両替所は極悪すぎ**だろと思いました。二度と使わん。

2018年10月30日（火） 朝食

午前3時、照明がつけました。そして朝食のオムレツです。味はいいですね。…しかしオムレツの中に長い髪の毛を発見してしまいました。不快ではありましたが、工場の若いパリジェンヌの髪ならむしろ**ご褒美**であると考えて、そのまま交換も要求せずに横によけて食べてしまうことにしました。



北京空港



たっぷり寝たしもう機内は明るいのでそのまま起きていると午前5時、まもなく北京空港に到着です。そしてこの時間だと北京時間ではもう正午ですので、時計を修正（ここからは北京時間で記します）。

真っ昼間の明るい北京空港に到着。すでに何度か通ったトランスファーゲートを通り荷物検査をするだけですが、例によつての厳しい手荷物チェックにはうんざりです。

ミャンマーから帰る時ここで「キンカン」を没収されたのは今も忘れませんよ。

空港では3時間ほどの時間潰し。空腹でもないし機内食もまた出るでしょうから、昼食をとるほどではありません。待ち時間に人民元の余りで土産の酒を買って機内で飲むためのペットボトル飲料も買いました。

どうでもいいですが自販機で釣り銭が戻ってこなかったとかいうトラブルもありました。そして1時間くらい遅延した421便に16時半、搭乗。あと3時間で帰国です。

帰国

1時間くらいして飲み物が出た後に、18時に夕食。

悪くないです。中国国際航空は機内食が美味しいのは長旅では本当に良かったと思いました。19時過ぎに、あと40分で成田というアナウンス。日本時間は1時間プラスしての20時。ここからは日本時間で記します。



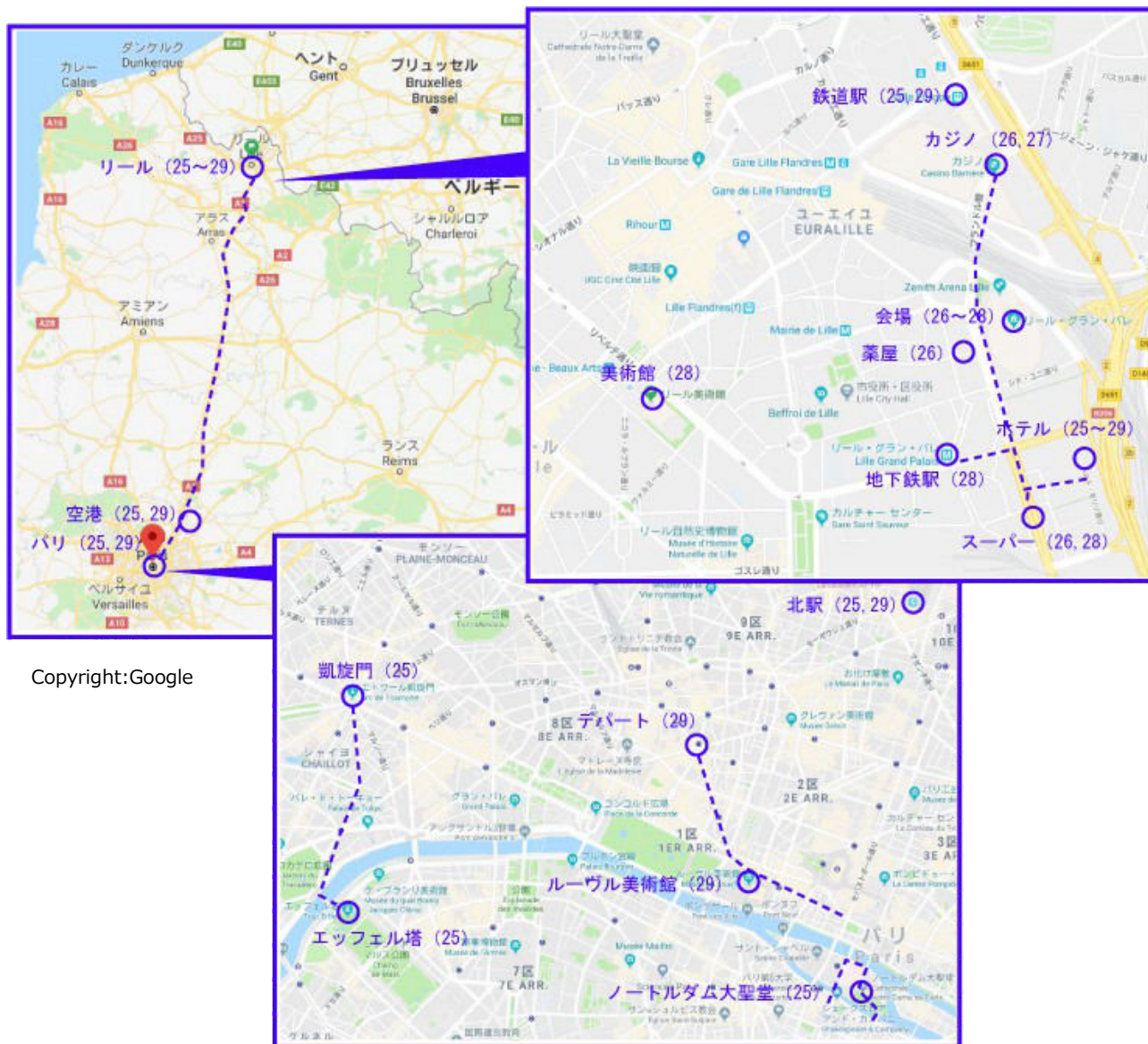
20時46分に成田空港に着き、京浜急行のホームに移動して21時25分に乗車。無事に座れましたので、あとは青砥駅まで乗っていただくだけです。

22時10分に青砥に着き、タクシーに乗って22時35分に我が家に帰宅しました。

おうちに帰るまでがGPであり、GPリール2018も無事に終了しましたが、今回は滅多に行けない欧州であり、妻を連れての久々の海外旅行でもあったので、思い出深いものであったなあと思いました。風邪で体調はいまひとつでしたが行って良かったです。

(完)

今回訪れた主なスポットは、こちらになります。



Copyright:Google

GP リール 2018 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2018年12月29日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（ひろじ）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）